

## 12 福祉・医療・保険等

### 01 国民健康保険・後期高齢者医療保険業務の対応

保険証の更新は、毎年10月1日であったが、保険証等を津波で流出した方や、着の身、着のまま避難した方が多かったため、その対策として、平成23年6月1日付けで国民健康保険被保険者証の一斉更新という異例の対応をとった。

平成23年5月23日に男女共生センターへの移転を機に、従来の端末環境を復旧させ、6月1日から離職者の国民健康保険への加入対応を再開した。再開当初の1ヵ月で被保険者が1,000人（15%）以上増加し、年度末では対前年比で1,600人（25%）以上が増加した。

このため、医療費が倍近くに膨れ上がり、加えて税金が入らない状況から資金繰りが厳しい状況となり、国庫補助や納付金等の納付猶予申請を行うなどして苦難を凌いだ。

### 02 介護保険・地域包括支援の対応

避難当時は、介護認定を受けているかどうかの認定情報がなく、住民からの相談への対応は困難を極めた。また、慣れない土地での避難生活が続く上に、外に出ず閉じこもりがちになるため、身体が弱くなり施設入所者数は増加傾向にある。また、予防給付面でもデイサービスの利用が多くなっている。

### 03 避難者への巡回健康相談等

避難当初より避難者への巡回健康相談として、体育館、集会所など各避難所での住民の健康状態の把握に努めた。町職員の人員不足もあり、臨時看護師、県立大野病院の看護師、避難先の市町村保健師、県内各保健福祉事務所、県外派遣保健師等の協力を得ながら実施した。

また、2次避難所から仮設住宅等への入居以降は、巡回訪問及び健康相談、県北保健福祉事務所等の協力で健康教室（軽体操、歯、栄養などの講話）を実施した。借上げ住宅に対しては65歳以上及び4歳未満のリスクの高い方から訪問を開始した。

県内の健康診査は、各地での集団健診、個別健診として福島医師会との契約及び各医療機関での償還払いを実施した。また、県外については、健診実施機関との契約による個別健診を実施した。



仮設診療所の激励に訪れた三保二本松市長（当時）

## 04 放射線からの健康管理

浪江町では放射線からの健康管理を推進するため、さまざまな取り組みを行っている。内部被ばく検査や甲状腺検査などを通して町民の健康状態を把握し、健康管理を促すとともに、相談員を配置したり座談会を実施したりするなどして放射線への正しい理解と不安の払拭を図っている。平成28年3月までに実施した、主な取り組みは下記のとおりである。

### ■健康管理手帳（放射線健康管理手帳）の交付

●目的：町民自身の健康管理、健康保持に活用していただくことを目的とする。

●実施：

＜対象者＞

・平成23年3月11日において浪江町に住所を有していた者、及びその者の胎児であった方。

＜配布人数＞

・21,212名（震災時の住基人口：21,314名）

＜配布時期＞

・平成24年8月より各世帯に郵送。23,000部作成。

＜説明会＞

平成24年11月～平成25年1月

健康手帳配布にあたり、応急仮設住宅集会所（福島市・二本松市・本宮市）にて、手帳の活用の仕方と放射線の正しい知識について福島県立医科大学県民健康管理センターと共に開催。また、総合健診会場においても開催した。

●H27年4月からH28年3月までの実績

＜現在＞

再交付：41名（手帳の更新、紛失、届いていなかった方）

新規交付：5名（出生、婚姻によるもの）

※平成27年4月1日～平成28年3月31日まで

＜手帳活用＞

内部被ばく検査（WBC）や甲状腺検査等を受診後にご自身で記録。

町で実施しているホールボディカウンター受診の際に持参して頂ければ町で更新している。

## ■内部被ばく検査（ホールボディカウンター検査）

●目的：町民の長期的な健康管理と、放射線による健康不安の軽減を図る。

●実施：

《対象者》

- ・全町民（幼児については背筋が伸びた状態で椅子に一人座りができること）

《実施日》

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～11:30	○	○	○	○	○	○	休
13:00～16:00	○	○	○	○	○	○	休

※年末年始、祝祭日を除く

《場所》

- ・仮設津島診療所内（二本松市油井字長谷堂230番地（安達運動場内））
- ・県バス（福島市仮設住宅、相馬市大野台第8仮設住宅、南相馬出張所、いわき交流館等）

《広報》

- ・広報誌、HP、タブレット等
- ・県内避難者には、受診案内を個別に通知

《その他》

- ・平成27年10月1日から、検査業務を『公益財団法人 原子力安全研究協会』に委託。
- ・常時2名体制で実施。（測定・結果説明・放射線による健康相談等）

●H27年4月からH28年3月までの実績

《実施者数》

(人)

受診機関	～9歳	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	計
仮設津島診療所	61	97	46	66	82	880	1232
福島県（県バス）	166	82	66	94	146	871	1425
ひらた中央クリニック	3	1	2	5	0	4	15
桑折町	5	3	1	4	11	91	115
常磐病院	0	0	1	0	0	1	2
計	235	183	116	169	239	1847	2789

※平成27年4月1日～平成28年3月31までの集計

《測定結果》

- ・検出者9名
- ・測定者全員、預託実行線量1 mSv以下（検出者9名含む）

検出者 核種	A	B	C	D	E	F	G	H	I
セシウム134	390Bq	180Bq	210Bq	1100Bq	240Bq	520Bq	700Bq	430Bq	470Bq
セシウム137	2000Bq	1100Bq	660Bq	未検出	460Bq	3000Bq	4600Bq	2700Bq	2300Bq

## ■甲状腺検査

●目的：震災時40歳以下の全住民の長期的な健康管理と、放射線による健康不安の軽減を図る。

●実施：

＜対象者＞

- ・震災時40歳以下の全住民 ※福島県実施の県民健康調査を基本としている。
- ・震災時18歳以下：県民健康調査は、20歳に達するまでは2年に1度、20歳以降は5年に1度の実施になるため、その間の年度を町で実施している。
- ・震災時19歳以上40歳以下：1回に限り町が実施している。

＜実施日＞

- ・受診する医療機関による。

＜場所＞

- ・仮設津島診療所内（二本松市油井字長谷堂230番地）
- ・全日本民主医療機関連合会所属の医療機関（全国110箇所）※別添リスト参照
- ・ひらた中央クリニック

＜広報＞

- ・広報誌、HP、タブレット。

●H27年4月からH28年3月までの実績

＜福島県県民健康調査結果＞（平成28年6月6日 福島県県民健康管理検討委員会資料）

【一次検査】（震災時の年齢）

県民健康調査	0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～18歳	19歳～	受診者計	うち県外	備考
福島県（本格検査） H26年度実施対象者3,772人	654	722	757	367		2,500	717	H26年度から受診率66.3%

【一次検査確定結果】（県：H28.3.31現在※進捗98.8%）

A1	A2	B	C	確定数	未確定数
1,012	1,432	27	0	2,471	29

【二次検査確定結果】

対象者	二次検査受診者数				結果確定	二次検査受診者数			
	受診者計	0～5歳 (2～7歳)	6～10歳 (8～12歳)	11～15歳 (13～18歳)		16～18歳 (18～22歳)	A1	A2	通常診察
27	22	0	2	9	11	22	0	2	20

＜町実施＞（H27.4.1～H28.3.31まで集計） ※下表の（ ）は受診者数のうち県民健康調査対象者

受診医療機関	受診者数	A1	A2	B	C	データ提供無し
津島仮設診療所	53 (41)	31 (24)	22 (17)	0	0	0
ひらた中央クリニック	7 (3)	1 (1)	4 (2)	1	0	1
全日本民主医療連合会	32 (12)	9 (2)	23 (10)	0	0	0
計	92 (56)	41 (27)	49 (29)	1	0	1

## ■初期被ばく検査（染色体検査）

●目的：血液中のリンパ球という細胞における染色体異常を調べて、内部被ばくと外部被ばくを併せた身体全体の被ばく線量を推計することによって、子供たちの放射線被ばくに関する安心と安全を確認することを目的とする。

●実施：

＜対象者＞

・平成23年3月11日現在で浪江町に住所を有し、平成5年3月11日～平成23年3月11日までに生まれた方。（検査申込者：861名・検査実施者：765名・結果通知済者762名）

＜実施日＞

・平成25年1月29日～平成25年8月29日まで採血

＜調査実施機関＞

- ・弘前大学被ばく医療総合研究所
- ・弘前大学大学院保健学研究科（健康支援科学領域、医療生命科学領域）
- ・浪江町国民健康保険仮設津島診療所

検査申込者	861名	—	
検査実施者	765名	88.85%	（申込者に対する割合）
検査報告済	762名	99.60%	（検査実施者に対する割合）
検査不可能	3名	0.40%	（検査実施者に対する割合）

●H27年4月からH28年3月までの実績

＜検査結果送付済み＞

- ・765人（100%）に通知済（平成28年7月31日現在）
- ・現在は基準値（受検者平均値）と比較して高数値者31名に対し再検査勧奨の通知を送付済
- ・（平成28年7月31日現在）

＜判定＞

- ・結果通知者全員、染色体変化は自然発生頻度の範囲であり、過剰な被ばくによる影響認められていない。

## ■外部被ばく測定事業（子ども・妊婦）

●目的：外部被ばくの状態を知ること、放射線に対する不安を解消し、今後の健康管理を目的とする。

●実施：

《対象者》

- ・平成23年3月11日において浪江町の区域内に住所を有しており、測定期間中に幼児（震災後生まれた方も含む）、小学生、中学生、妊婦で希望された方。

《測定方法》

- ・バッジ式個人積算線量計を着用（長瀬ランダウア株式会社製クイクルセルバッジ）

《測定期間》

- ・対象者（希望者）に年2回（3ヶ月毎）に送付

1回目：平成27年5月18日～平成27年8月17日

2回目：平成27年8月18日～平成27年11月17日

※各々の測定期間終了後、ガラスバッジを町（健康保険課）に返送された方に、町から本人に測定結果を送付。

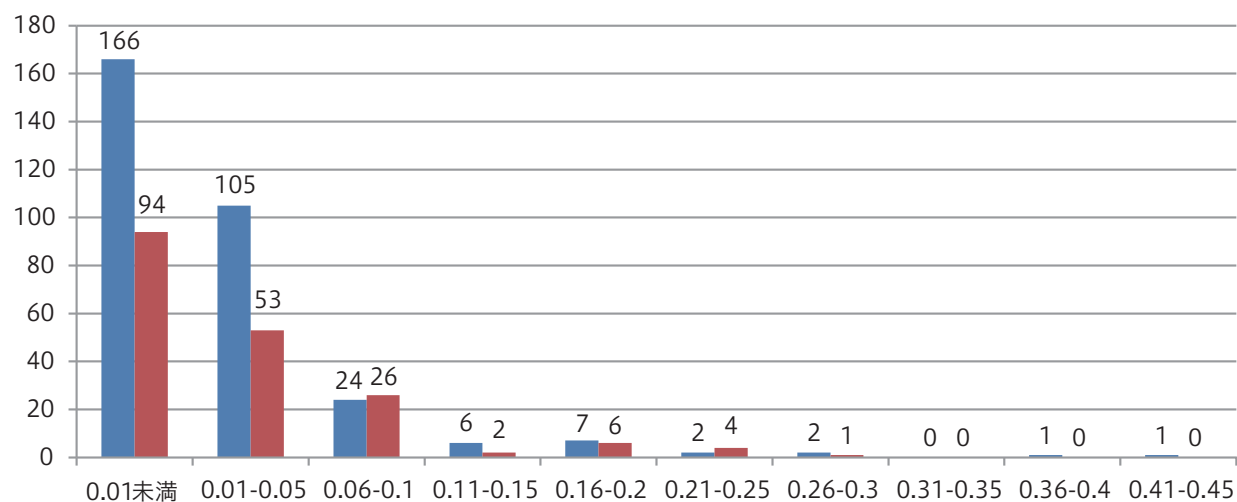
●H27年4月からH28年3月までの実績

《実施者数》

1回目送付数：幼児：101名 小学生：123名 中学生：93名 妊婦：8名 計325名

2回目送付数：幼児：68名 小学生：81名 中学生：65名 妊婦：9名 計223名

《1回目（左）と2回目（右）の測定結果》



※測定結果は、1回目送付数325名、2回目送付223名のうち、返却いただき測定した件数。

1回目送付分314名 2回目送付分186名。

※1回目+2回目×2（年間に換算）で1.01mSv以上の方2名を対象に使用方法、行動範囲、健康不安の有無等について聞き取り調査を実施

## ■外部被ばく測定事業（大人）

●目的：一時立入時における、外部被ばくの状態を知ること放射線に対する不安を解消し、今後の健康管理を目的とする。

●実施：

《対象者》

・平成23年3月11日において浪江町の区域内に住所を有していた方のうち、測定期間中に高校生以上の方

《測定方法》

・バッジ式個人積算線量計を着用（長瀬ランダウア株式会社製クイクルセルバッジ）

《測定期間》

・対象者（希望者）に年4回（3ヶ月毎）に送付

1回目：平成27年4月1日～平成27年6月30日

2回目：平成27年7月1日～平成27年9月30日

3回目：平成27年10月1日～平成27年12月31日

4回目：平成28年1月1日～平成28年3月31日

※各々の測定期間終了後、ガラスバッジを業者（長瀬ランダウア）に返送された方に、業者から本人に測定結果を送付。

※町にもデータが届く。

●H27年4月からH28年3月までの実績

《実施者数》

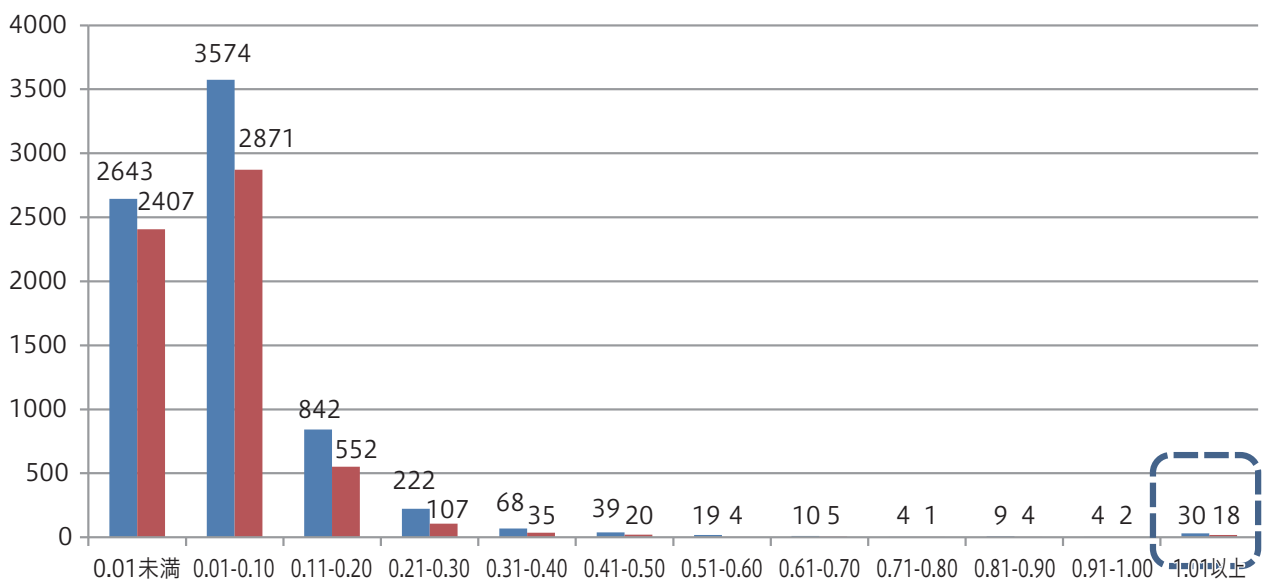
1回目送付数：11,897名 2回目送付数：11,899名

3回目送付数：11,308名 4回目送付数：8,324名

《測定結果》

青：3回目送付数11,308名のうち、返却いただけた7,464名のもの

赤：4回目送付数8,324名のうち、返却いただけた6,026名のもの



・1回目～4回目の合計で1.01mSv以上の方は236名

※以上の方を対象に、使用方法、行動範囲、健康不安の有無等について聞き取り調査を実施

## ■放射能測定器校正事業

●目的：一時帰宅の際、放射線への不安解消、安心確保のため、平成24年度に配布した放射線測定器（精密博士）の性能を維持することを目的としている。

●実施：

＜対象者＞

放射線測定器（精密博士）を配布された方全員（平成23年3月11日現在で浪江町に住所を有していた全世帯）

配布個数：7,574器

＜実施日＞

・随時受付

＜校正方法＞

①郵送：業者（株式会社JBジャパン・ブランド）に着払いで郵送。

※平成28年1月から、着払い用郵送セットの送付を開始。

②収集：年に1度各仮設住宅集会所で収集（27年度は7月6日～10日）

③持込：浪江町役場本庁舎、二本松事務所、各出張所へお持ちいただく。

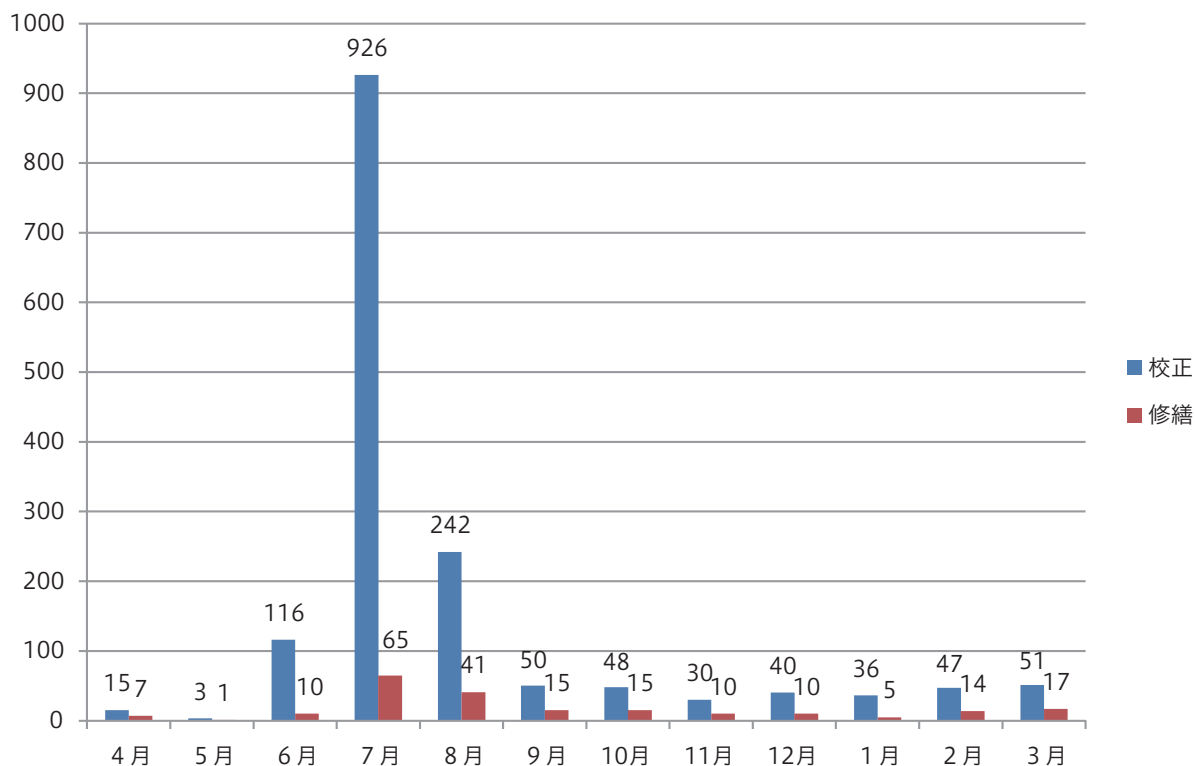
※校正後業者から自宅に郵送される。

＜広報＞

・広報誌、HP、タブレット等

●H27年4月からH28年3月までの実績

＜校正・修繕 件数＞



・平成27年度校正済み：1,604件（2割程度）



## ■ リスクコミュニケーション事業

● 目的：放射線による健康不安の軽減、及び放射線について相互理解の促進を図る。

● 実施：

＜対象者＞

- ・全町民
- ・県外の復興支援員等

＜内容＞

- ・放射線に対する不安や疑問等についての話し合い相互理解を深める。
- ・弘前大学浪江町復興支援室（2名常勤）が中心となり実施。
- ・状況により、専門家（弘前大学の先生）に回答を依頼。

＜実施方法＞

- ・電話や自宅訪問による個別対応。
- ・少人数（5名程度）による座談会。

● H27年4月からH28年3月までの実績

① バッジ式線量計による外部被ばく測定結果が高い方を対象に聞き取り調査

【聞き取り内容】・バッジ式線量計の使用法（保管場所や着用時の行動）について

- ・放射線による健康不安について
- ・放射線に対する疑問等

【結果】・測定結果が高い原因の多くは、浪江の自宅に線量計を置いていたこと。

- ・比較的線量の高い地域（避難指示中の市町村内）で仕事をされていたこと。

② バッジ式線量計を長期間返却されない方に返却しない理由等の聞き取り調査

【返却しない理由】・使用していないため。※一時帰宅をしていない。

- ・忘れていた。※バッジ式線量計そのものに関心がない。
- ・配布されているバッジ式線量計に対する不信感。

③ 外部被ばく測定結果についての『おしゃべり会』を開催。

【実施場所】本宮市、二本松市の仮設住宅集会所（小田部・石上第一・杉田農村）

【参加者】仮設住宅入居者（5名程度）、支援室（2名）、弘前大学（3名）、町職員。

④ 内部被ばく検査結果について専門家による個別相談。

【実施場所】内部被ばく測定（WBC）会場（仮設津島診療所）

【実施】内部被ばく検査後の結果説明時に実施。

～リスクコミュニケーションの結果～

過度に神経質になっている方、単位が分からないなど放射線に関しての理解が不足していた。また、役場の窓口や電話での問い合わせが少ないので不安も少ないと思っていたが実際に話をすると不安に感じる方が多いので、事業継続が必要。

## ■放射線相談員事業

●目的：特例宿泊や準備宿泊、町内で労働する町民に対して小型、軽量線量計（Dシャトル）の貸し出し業務やその結果の説明等、町民からの放射線に関する健康不安や疑問などに対して専門知識を有する職員が窓口対応する事業

●実施：

＜放射線相談員＞

平成28年9月1日より原子力安全研究協会より浪江町への出向という形で有資格者（第1種放射線取扱主任者）1名を浪江本庁帰町準備室内に配置

＜実施日＞

職員同様、平日8時30分～17時15分まで勤務

＜業務内容＞

- ①線量計の窓口での配布、使用説明、回収、データの出力と説明
- ②放射線に関する相談窓口
- ③個別訪問による放射線に関するリスクコミュニケーション
- ④放射線に関する講習会等の開催
- ⑤放射線に関するリスクコミュニケーションの情報整理及び情報発信

＜広報＞

- ・広報誌、HP、タブレット等

●H27年4月からH28年3月までの実績

＜対応件数＞

- ・平成27年度校正済み：1,604件（2割程度）

■図表 県民健康管理調査「基本調査」による外部被ばく実効線量の推計

対象期間	回収数 (平成24年1月末現在)	回収率 (平成24年1月末現在)	推計結果			
			0～5mSv	5～10mSv	15mSv超	最高値
3/11～7/11	7,250人	33.8%	7,164人	60人	26人	23mSv

■図表 大人

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
平成26年度	11,942	12,492	12,417	9,547	46,398
平成27年度	11,897	11,899	11,308	8,324	43,428

平成28年3月末現在

## 05 放射線への不安対応

町民の放射線に対する不安を解消するため、町内に設置したモニタリングポストによる測定結果と、シンチレーション式サーベイメータより地上1m地点を測定した空間線量測定結果を広報誌で公表し、現在も続けている。

■ 図表 町内モニタリングポスト測定結果

(単位：μSv/h)

地区	測定地点	H26 5月	→	H28 4月	
浪江	旧法務局	0.26	→	0.21	
	浪江町役場	0.11	→	0.08	
	権現堂集会所	0.56	→	0.23	
	新町ふれあい広場	0.37	→	0.11	
	浪江消防署	0.22	→	0.10	
	請戸川土地改良区	0.36	→	0.18	
	浪江小学校	0.57	→	0.13	
	JR浪江駅前	0.72	→	0.41	
	ふれあいセンター	1.00	→	0.46	
	中央公園	0.55	→	0.30	
	双葉地方森林組合浪江事業所	0.87	→	0.50	
	国玉神社	4.45	→	3.15	
	上ノ原配水場近傍	3.05	→	0.88	
	川添葉山会館	2.24	→	1.57	
	浪江中学校	4.13	→	1.04	
	南上ノ原町営住宅	2.27	→	0.57	
	中上ノ原町営住宅	2.17	→	0.36	
	しらうめ荘	1.04	→	0.23	
	樋渡牛渡集会所	2.47	→	0.44	
	高瀬浄化センター	0.26	→	0.16	
	丈六公園	2.57	→	1.63	
	高瀬多目的集会所	0.50	→	0.16	
	佐屋前公民館	1.65	→	0.42	
幾世橋	浪江東中学校	0.21	→	0.14	
	幾内中継ポンプ場	0.34	→	0.24	
	幾世橋集会所	0.19	→	0.10	
	幾世橋消防屯所	0.24	→	0.13	
	百間沢集会所	0.30	→	0.12	
	幾世橋小学校	0.21	→	0.13	
	浪江町公民館幾世橋分館	0.14	→	0.09	
	浪江浄化センター	0.33	→	0.20	
	大字棚塩字北棚地内	0.23	→	0.16	
	棚塩霊園	0.22	→	0.12	
	北棚塩総合集会所	0.13	→	0.08	
	マリパーク	0.19	→	0.15	
	棚塩集会所	0.09	→	0.07	
	大字棚塩字中舁倉地内		→	0.09	
	請戸	大平山避難場所	0.37	→	0.25
		浜街道高瀬街道交差点付近	0.19	→	0.15
		浜街道境松付近	0.29	→	0.22
大字請戸集会所		0.07	→	0.05	
請戸小学校			→	0.13	
大堀	小丸多目的集会所	16.60	→	11.78	
	やすらぎ荘	15.43	→	11.00	
	井手多目的研修センター	4.89	→	2.93	
	末森中継ポンプ場	2.97	→	2.08	
	末森集会所	3.72	→	2.68	

地区	測定地点	H26 5月	→	H28 4月
大堀	アクセスホームさくら	1.72	→	1.31
	田末消防屯所	2.23	→	1.65
	田尻集会所	1.16	→	0.37
	陶芸の杜おおぼり	6.20	→	4.68
	大堀総合グラウンド	1.80	→	1.18
	大堀小学校	2.41	→	0.99
	小野田集会所	1.47	→	0.64
	谷津田集会所	0.72	→	0.52
	大字谷津田字乱塔前地内	1.75	→	1.28
	谷津田取水場入口	0.90	→	0.69
	酒井集会所	2.39	→	1.58
刈野	室原田子平墓地	0.83	→	0.59
	室原北向集会所	2.93	→	2.15
	室原上組集会所	4.51	→	3.22
	家老集会所	5.30	→	3.59
	室原公民館	2.86	→	1.74
	上立野公民館	2.28	→	1.17
	刈野配水場	2.16	→	1.53
	立野中多目的集会所	2.76	→	0.59
	下立野消防屯所	2.44	→	0.39
	浪江公民館刈野分館	3.21	→	1.12
	刈野小学校	3.04	→	0.38
	刈野公民館	1.82	→	0.80
	加倉運動公園	3.63	→	2.45
	福島県浪江ひまわり荘	2.07	→	1.17
	加倉集会所	1.79	→	0.54
	酒田集会所	2.11	→	0.41
	浪江高等学校	0.58	→	0.24
西台消防屯所	0.27	→	0.17	
藤橋消防屯所	0.46	→	0.15	
大柿ダム管理事務所		→	1.01	
津島	羽附集会所	0.50	→	0.37
	大字津島集会所	1.58	→	1.16
	浪江町立津島小学校	3.00	→	2.11
	浪江町立津島中学校	1.48	→	0.96
	福島県立浪江高等学校津島校	6.77	→	4.85
	下津島集会所	3.25	→	2.32
	大字下津島字大和久地内	6.67	→	4.97
	津島活性化センター	0.68	→	0.51
	南津島上集会所	3.31	→	2.53
	南下コミュニティーセンター	3.92	→	2.79
	赤宇木集会所	6.50	→	3.62
	葛久保集会所	6.26	→	4.67
	手七郎集会所	6.24	→	4.22
	大柿簡易郵便局(葛尾村営バス停脇)	8.93	→	6.38
	屋曽根消防屯所	8.33	→	5.44
	沢先集会所		→	1.70

■図表 町内空間線量測定結果

(単位：μSv/h)

地区	測定地点	H26 5月	→	H28 4月
浪江	新町セブンイレブン付近	0.41	→	0.18
	常磐線陸橋東側	1.48	→	0.30
	常磐線陸橋西側	2.13	→	1.80
	川添字小丸田地内	3.69	→	2.50
	国道6号高瀬交差点付近	0.22	→	0.11
	高瀬字小高瀬迫地内	0.86	→	0.49
	幾世橋	貴布祢	0.28	→
北幾世橋字町尻地内		0.44	→	0.23
北幾世橋字荒井前地内		0.24	→	0.16
棚塩字弥平迫地内		0.22	→	0.16
請戸	請戸橋南側	0.23	→	0.17
	請戸漁港	0.18	→	0.09
	請戸小学校	0.23	→	0.11
	中浜消防屯所付近	0.14	→	0.10
	両竹消防屯所付近	0.21	→	0.14
大堀	小丸字赤下地内	3.48	→	2.22
	小丸字三程地内	1.10	→	0.75
	畑川集会所	1.18	→	0.88

地区	測定地点	H26 5月	→	H28 4月
刈野	立野字根渡地内	1.96	→	1.23
	酒田町営住宅	0.81	→	0.56
	国道114号千人沢トンネル南側	8.68	→	3.65
	室原字小萱地内	2.40	→	1.46
	室原字堀知木地内	2.50	→	1.32
	加倉ファミリーマート付近	3.41	→	1.53
	加倉ローソン付近	2.79	→	1.87
	藤橋字善明迫地内	0.26	→	0.14
	藤橋不動尊前	0.45	→	0.21
津島	津島字水境地内	2.61	→	1.26
	津島字仲野作地内	4.45	→	3.25
	津島字谷津地内	3.35	→	2.05
	上津島消防屯所	2.60	→	1.40
	浪江町役場津島支所	4.06	→	1.81
	赤宇木字櫛平地内	9.01	→	5.65
	屋曾根字尺石地内	9.80	→	5.00

\*測定日は平成28年4月5・6日です。